

医王病院ニュース

患者さん一人ひとりに寄り添い、心のふれあいを大切に信頼される医療を目指します。

雪解けの火の見櫓・浅野川大橋詰

冬号
第68号

令和7年3月25日発行

～2024 CHRISTMAS CONCERT～

被服ボランティアの方々が金沢市ともしび賞を受賞

能登半島地震の経験を活かした災害対応訓練

災害対策研修会を開催して

院内QC活動報告会 & QC伝達講習を実施して

石川県立医王特別支援学校

外来担当表、病院案内図

～2024 CHRISTMAS CONCERT～

療育指導室 保育士 川端麻友美

12月11日、当院のデイサービスに通っている利用者さんのご家族によるピアノの生演奏で、クリスマスコンサートを開催しました。赤鼻のトナカイやジングルベル、定番のクリスマスソングから、ジブリメドレーなどの人気のアニメ曲他、竹内まりやさん『命の歌』、藤井風さん『満ちてゆく』などのJ-POPまで幅広い楽曲の優しいメロディーが流れ、楽しい時間となりました。目の前で繰り広げられるピアノ演奏は圧巻で、患者さんからは「感動しました」「よかったー」などのお声をいただきました♪

食堂での演奏が終わるとその後は移動コンサートとなり、病室に移動しての一人ひとりに向けた演奏が続きました。心温まるピアノの音色が室内に響き、ある患者さんは普段は見せない満面の笑みを浮かべておられ、ご満足されている様子がとても印象的でした。私もその様子に胸が熱くなり、共に特別な時間となりました。

翌日、別の患者さんからは「昨日 ピアノ よかった」「藤井風 ユーチューブ 聞いてる」との声がかり、感想について話されていました。ご自身で藤井風さんの曲を検索して繰り返し聞いているとの事でにっこり微笑まれ、その後もユーチューブ視聴で余韻を味わいリラックスの様子でした。

今後も様々な行事や活動を取り入れて季節の移ろいを感じたり、患者さんとのコミュニケーションを図る楽しい企画などを考えていきたいと思います。



被服ボランティアの方々が金沢市ともしび賞を受賞

看護部長室 副看護部長 梶田 優子

当院で被服ボランティアをされている「医王のひだまり」が、この度、金沢市ともしび賞を受賞され、市長表彰を受けられたとの喜ばしい報告がありました。

現在、「医王のひだまり」は9名のメンバーの方が活躍されています。患者さん一人ひとりのリクエストに応じた物も完成度が高く、着心地や可愛らしさ、使いやすさから患者さんだけではなく、ご家族や職員にも喜ばれています。これまで20年に渡り、毎月病院で患者さんの衣類の加工や座布団カバー・クッションなどの身の回りの物を作ってくださいましたことが認められ、大変嬉しく思います。

令和6年12月、ボランティア開始当初から活動されていた代表の上田さんが最終の活動日ということで、石田院長よりお礼の言葉をお伝えしました。これまでの活動を振り返る中で、ジャンジャンバンドのひざ掛けを作成していただいた等、懐かしい話でもしました。ジャンジャンバンドとは院内から地域の文化祭や他施設訪問、福祉イベント等に参加している音楽活動グループです。院外活動の際、素敵なひざ掛けをかけた時、患者さんが嬉しそうなお表情になったことを今でも覚えています。ジャンジャンバンドのメンバーは、はりきって演奏されていました。上田さんのこれまでの活動に感謝申し上げます。



※金沢市ともしび賞：市民の福祉奉仕活動をより一層奨励するとともに、市の社会福祉向上の一助とするため、長年にわたり地道にそして積極的に福祉奉仕活動を行っている個人又は団体（グループ）に対し、金沢市ともしび賞が贈与され顕彰される制度です。



これまでありがとうございました

これからもよろしくお願いします

能登半島地震の経験を活かした災害対応訓練

事務部長 中谷 晶光

令和6年1月1日16時10分の能登半島地震では、金沢市の北東部に位置する当院は、震度5相当の揺れを観測しました。当時、幸いなことに入院患者さんへの大きな影響はありませんでしたが、エレベータ停止による入院患者への配膳対応、外線電話の殺到、近隣住民の方が十数名来訪され外来ホールで一晩過ごされる等想定外の事態が発生しました。

災害本部を立ち上げ、登院職員とともに院内の被災状況を確認しながら、在宅患者の状況確認や対応、重症心身障害や神経難病患者の方々の受け入れを始めました。

11月26日22時47分の地震においても、一部のエレベータ停止、水道が止まるなどのトラブルも生じました。揺れ方が敷地内の場所によっても異なることが確認でき、人員が少ない時間帯に、誰がどこまで対処できるのかを再度考える必要を感じました。

そこで、今回の災害訓練は、能登半島地震と同様に、休日・時間外で当直職員しかいない場合に災害対策本部をどのように設置するのか、設置後どのように運用するのか、必要な情報の収集・整理・伝達に焦点を当て、1月29日（水）に実施しました。

訓練スタートを告げる院内放送後、当直者役3名は、情報を集めながら参集し、院内の被害状況を確認して院長に報告。院長から災害対策本部設置の指示を受け、3階職員食堂に本部を設置後、職員を対象に登院要請のメールを展開しました。

訓練では、登院してきた職員への指示や、シナリオに基づき外線や内線電話で集まってくる様々な情報を管理できるか、ホワイトボードを使って本部運営に取り組みました。

反省会では、1月1日当日に参集した職員からの的確な指摘も聞かれ、課題を再認識しました。現在、見直しを進めている事業継続計画とも併せ、今後の災害対応のレベルを上げていく訓練を継続していきます。



当直者役が参集して被害確認



病棟から本部への被害報告



慣れないクロノロ（時系列記録）

災害対策研修会を開催して

難病診療連携コーディネーター 杉森千代子

令和7年2月2日（日）に石川なんびょう診療連携室「ランプ」・いしかわ医療的ケア児支援センター「このこの」合同研修会を開催しました。

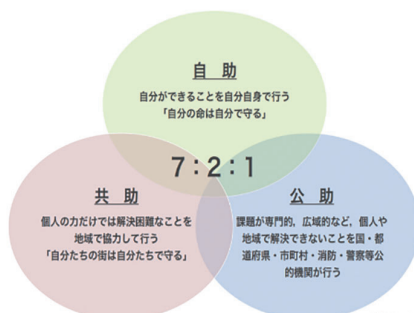
『難病患者さんを災害から守るため当事者・支援者ができること—知識と技術を学び、ALL石川で取り組もう—』をテーマに、ハイブリッド形式で岩手県の北良株式会社の笠井健様、静岡県 の城西クリニック副院長の溝口功一先生を講師にお招きし、最新の災害支援についてご講義いただきました。

難病患者さんに関わる医療・保健・福祉・教育・防災・行政などの様々な分野の方が参加して学びを深めることができました。

笠井様より、「難病患者の在宅避難・防災訓練・避難者はどうあるべきか」というテーマでご講演いただきました。能登半島地震災害発生時に岩手県から被災地に駆けつけ、自社で開発した水の浄化装置、発電機、手洗い機やシャワー室等を用いた被災地への支援や停電時のレスキューシステム構築などの実際の支援活動についてご提示いただきました。またご講演の最後に、一番大切なのは「精神的な支えである」と話されました。多くの受講者は、笠井様の被災者の心を支える活動に感動したとの感想を述べられました。



次に溝口先生より、「難病患者の災害への備え」というテーマでご講演いただきました。先生は災害時の自助、共助、公助の必要性を被災の調査結果をもとに明確に述べられ、患者さん一人ひとりに応じた個人避難計画や、国を挙げた災害対策制度等について提言されました。受講者からは災害支援の在り方について新しい知見を得られたとの意見が多く寄せられました。



今後も、難病患者さんにより良い支援をお届けできるように、支援者一人ひとりのスキルアップ、多機関の連携強化ができるような研修等を企画したいと思います。

院内QC活動報告会 & QC伝達講習を実施して

教育担当師長 高道 香織

国立病院機構で取り組んでいる「QC活動」。“QC”とは、Quality Controlの略で、医療サービスの質向上や改善の活動です。令和6年度活動の報告会を2月17日に行いました。今年は10チームの取り組みが報告されました。

院内全部署からの事前投票と、院長・教育研修委員長・看護部長・事務部長の特別審査員の審査を経て、今年度の優良賞は「気管カニューレ計画外抜管を予防しよう」第7病棟、優秀賞は「もういいでしょう 価格高騰満足度を下げないデザート提供の取り組み」栄養管理室、最優秀賞は「はいよろこんで！定期処方代行入力します」薬剤科の審査結果となりました。

気管カニューレの計画外抜管は、当院のリスクの高い課題かつ難題の一つで、果敢に改善に挑んだ7病棟発表者からは、「師長の取り組みの集大成です」とのコメント、どんどん高騰する食材費への対抗策を手作りデザートで挑戦する栄養管理室は質疑応答で、「管理栄養士と調理師とが深く話し合い、安くておいしいデザート提供が実現している」と語られました。教育研修委員長から「手作りデザートは検食の楽しみです。ドンドン取り組みをお願いします」とのコメントもありました。

そして昨年、東海北陸グループ表彰を受け国立病院総合医学会での発表に進んだ薬剤科は、2年連続の最優秀賞受賞でした。「まだまだ取り組みたいことがある」との発表者コメントもあり、次年度も期待したいです。



QC活動報告会 発表及び審査中



令和6年度QC活動 受賞者と特別審査員



QC活動報告 掲示の様子

2月26日には、本部主催研修のQC手法の伝達講習をミニレクチャーとして、伊藤朱里薬剤師を講師に実施しました。次年度も病院として積極的に取り組んでいきます。



< 医王特別支援学校の様子 >

【病棟訪問教育】冬のお楽しみ会

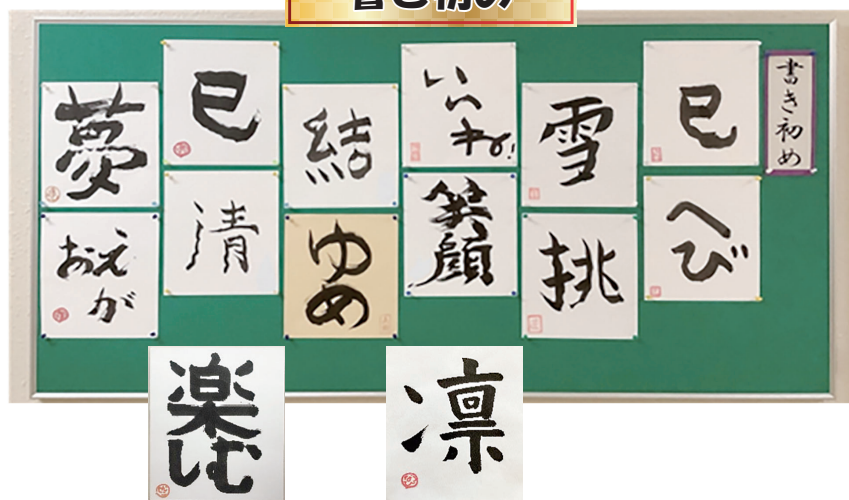
今年も「冬のお楽しみ会」でトナカイさん（教頭）がサンタさん（校長）の乗ったソリを引っ張る動画を見た後に実物のサンタさんが登場。鈴の音とともに児童生徒たちに会いに来てくれました。

毎年恒例の先生たちのダンスもある『クリスマスクリスマス』の歌動画を見たり、プレゼントタイムがあったり。そして、友達からの手作りクリスマスカードとプレゼントをサンタさんから受け取った後、最後にサンタさんと記念撮影！楽しい時間を過ごすことができました！



【小中】
クリスマス
作品作り

～書き初め～



今年の抱負や気になる言葉など、
思い思いに書きました。

行事や日常の授業の様子、自然に囲まれた校舎の様子など、ここでは紹介しきれなかったことがたくさんあります。学校ホームページで紹介しています。是非ご覧ください。

「石川県立医王特別支援学校HP」は、・・・

<http://cms1.ishikawa-c.ed.jp/iouxxs/>

パソコン、携帯電話等からご覧いただけます。

～ 外来診察のご案内 ～



【診察時間】

内 科

診察受付/午前 8:40～11:30
診察時間/午前 9:00～12:00

小児科

診察受付/午前 8:40～11:30 午後 14:00～16:00
診察時間/午前 9:00～12:00 午後 14:00～16:30

【休 診 日】土曜・日曜、祝日

●小児科外来担当

診療科	月	火	水	木	金
午前 一般	中村 (細野/高桑)	細野 (大学医師/加藤)	脇坂 (大学医師/細野)	高桑 (大学医師/細野)	細野 (大学医師/山田)
午後 一般	山田 (加藤/丸箸)	丸箸 (大学医師/加藤)	加藤 (細野/山田)	山田 (高桑/加藤)	加藤 (高桑/丸箸)

- ・予防接種をご希望の場合は、午前中及び15時～16時に受診してください。
- ・医師の出張等により急遽担当が変更になることがあります。

●専門外来（要予約）

＜小児心身症＞ 中村
＜言語/発達＞ 中村・脇坂・加藤
＜神経/てんかん＞ 脇坂
＜重症心身障害児＞ 丸箸
＜筋ジストロフィー＞ 脇坂
＜肥 満＞ 山田

●内科外来担当

診療科	月	火	水	木	金
午前 一般内科	交代制	田上	交代制	交代制	田上
脳神経内科(再診)	山口 高橋	駒井 本崎	石田 高橋	駒井 本崎	吉延 石田
脳神経内科(初診)	13:00 山口 15:00 高橋			11:00 本崎	9:00 吉延 11:45 石田
呼吸器内科		田上			田上

- ・脳神経内科の受診は電話予約が必要です。内科外来へお問い合わせ下さい。

●皮膚科

診療科	月	火	水	木	金
午後 一 般	大学医師			大学医師	

～ 患者さんの権利と義務 ～

患者さんは誰でも人間としての尊厳を大切にされ、医療を受ける権利を有します。また、医療は患者さんと病院職員が、お互いの信頼関係に基づき共に作り上げていくものです。したがって患者さんには医療に積極的に参加していただく必要があります。

当院はこのような考えに基づき、下記の「患者さんの権利」を尊重して医療を提供いたします。また患者さんは「患者さんの義務」を果たされるようお願い致します。

患者さんの権利

1. 患者さんは良質な医療を公平に受ける権利を有します
2. 患者さんは病気に関する情報や検査・治療についての説明を聞き、自分の受ける医療を選択できます
3. 患者さんは個人情報保護される権利を有します
4. 患者さんはいつでもカルテ開示を求める権利を有します
5. 患者さんはいつでもセカンドオピニオンを求める権利を有します

患者さんの義務

1. 患者さんには病院の諸規則を守る義務があります
2. 患者さんには自ら病気を治そうと努力し、また病気に関し病院職員の指示を守る義務があります
3. 患者さんには他の患者さんの治療や検査、快適な療養生活に支障を与えないように配慮していただく義務があります
4. 患者さんには当院での入院治療が必要でなくなった時には退院頂く義務があります
5. 患者さんには医療費の外、利用契約に基づく一部負担金などを支払う義務があります

医師および医療従事者の権利

医師および医療従事者は、自らの良心や医療倫理に相反することに対して、患者さんからの要求があっても拒否する権利があります

職員募集

詳しくは病院ホームページまたは管理課 庶務班長までお気軽にお問合せ下さい



独立行政法人
国立病院機構 **医王病院**
北陸脳神経筋疾患センター

●交通アクセス

- ・JR金沢駅よりJRバス(深谷元湯行・不動寺行)で30分、医王病院前下車 ※令和7年4月より廃止予定
- ・IR森本駅より徒歩15分 ・北陸自動車道 森本ICより車で5分 ・山側環状線より車で5分

〒920-0192 金沢市岩出町二73-1 TEL.076-258-1180 FAX.076-258-6719 <https://iou.hosp.go.jp/>

■発行者 医王病院 ■発行人 石田千穂 ■発行日 令和7年3月25日 ■印刷所 株式会社ハクイ印刷